



グローバル・ロボティクス株式ファンド

(1年決算型)/(年2回決算型)/

(為替ヘッジあり・1年決算型)/(為替ヘッジあり・年2回決算型)

米大統領選の結果を受けての ロボティクスへの影響と今後の見通し

優秀ファンド賞



「1年決算型」「年2回決算型」
投資信託 テクノロジー関連外国株式部門

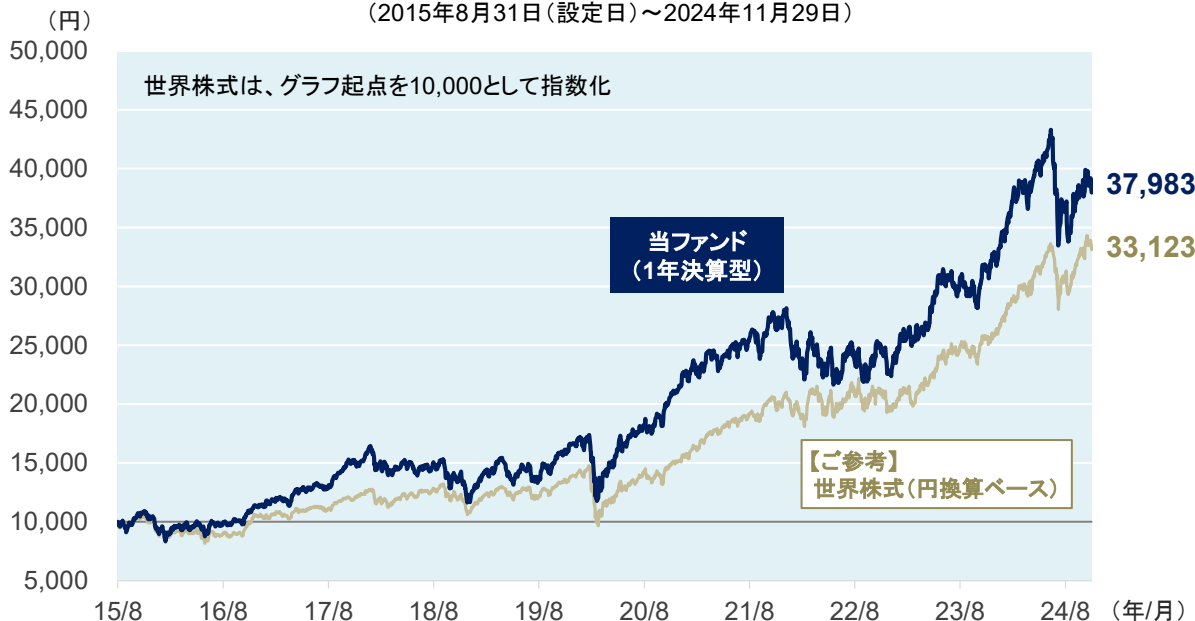
本資料では、2024年11月の米大統領選の結果を受けての今後の見通しなどについて、当ファンドのマザーファンドの投資顧問会社であるラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー（以下、ラザード社）からのコメントなどをもとにご紹介します。

本レポート の要旨

- トランプ次期政権の政策が産業や金融市場に及ぼす影響については依然として不確実性が高いため、より確かなものに投資することが重要になるとラザード社は考えます。
- 今後は製造拠点の米国への国内回帰(リショアリング)が加速することにより、生成AI(人工知能)を含めたロボティクスがもたらす自動化への需要がさらに高まると想定されます。そのため、米国のみならず、先進国の自動化関連技術や産業への投資割合を高めている当ファンドにとって追い風になるとみています。

<「1年決算型」基準価額の推移>

(2015年8月31日(設定日)～2024年11月29日)



トランプ氏が掲げる主な政策とロボティクスへの影響

- 11月の米大統領選では共和党のトランプ氏が勝利し、同時に実施された上・下両院の議会選挙でも共和党がすべて勝利するトリプルレッドとなりました。同氏の掲げる政策の実現可能性が高まりつつある中、産業や金融市場などにどのような影響を及ぼすのか注視していく必要があると考えています。
- ロボティクスに関しては、対中半導体輸出規制の継続・強化や関税引き上げによる世界経済全体への悪影響などが懸念されるものの、サプライチェーン再構築の促進などが招く人手不足に伴う自動化需要の高まりや、規制緩和などによって、ロボティクス進展のための環境整備が進むことが期待されます。

「トランプ2.0」によって、ロボティクス進展の加速が期待される

<トランプ氏の掲げる主な政策・公約>

経済

- ・ トランプ減税の延長・恒久化
- ・ 法人税率の引き下げ

通商

- ・ 中国からの輸入品の関税を60%に
- ・ 全世界からの輸入品の関税を10～20%に

移民

- ・ 不法移民の強制送還
- ・ 国境管理強化

産業

- ・ AIへの規制の緩和
- ・ 自動車産業への規制の見直し
- ・ 対中半導体輸出規制の強化

環境・エネルギー

- ・ 環境規制の緩和・撤廃
- ・ 化石燃料推進

※上記はすべての政策を表すものではありません。
※報道などの情報をもとに日興アセットマネジメントがまとめたものであり、今後、変更になることがあります。

<想定されるロボティクスへの影響の一例>

サプライチェーンの再構築が続き、
製造拠点を米国回帰が加速

国家安全保障の観点から、
米国内での半導体製造が進む

人件費の高い米国でのモノづくりと、
人手不足の激化に伴ない高まる自動化需要

生成AI普及で見込まれる電力消費増に
伴ない、高まる電力供給インフラへの需要

自動化需要のさらなる高まりから、ロボティクス進展の加速が期待される

【ご参考】「トランプ1.0」の振り返りと、「トランプ2.0」に対する考え方

- 第一次トランプ政権(2017～2020年)下では、2018年にトランプ大統領が中国製品に対して追加関税措置を発表したことを皮切りに米中貿易摩擦が始まり、中国市場における売上シェアの高い企業を中心に株価が急落しました。当ファンドのパフォーマンスは、中国での自動化進展からの恩恵が期待される銘柄にも投資を行っていたことなどから一時調整したものの、その後は、世界的なサプライチェーンの再構築を意識したポートフォリオへの入れ替えにより、回復に転じました。
- 2018年の予期せぬ米中覇権争いの激化は、金融市場に大きな影響を及ぼしましたが、今や米中関係の悪化や今後対中関税が引き上げられることは周知されています。また、米中貿易摩擦を発端とした中国依存を回避する動きは、コロナ禍時の供給制約に伴う製造拠点分散の後押しを受けて継続していることから、今後想定される米中関係の一層の悪化が当ファンドに与える影響については、2018年当時とは異なりむしろ追い風になる可能性があるというザード社では考えています。

ラザード社による今後の見通し

「トランプ2.0」により、期待される自動化のさらなる後押し

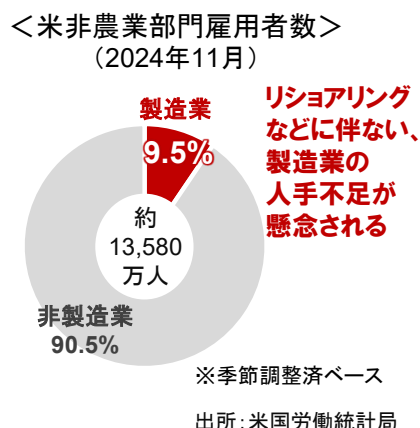
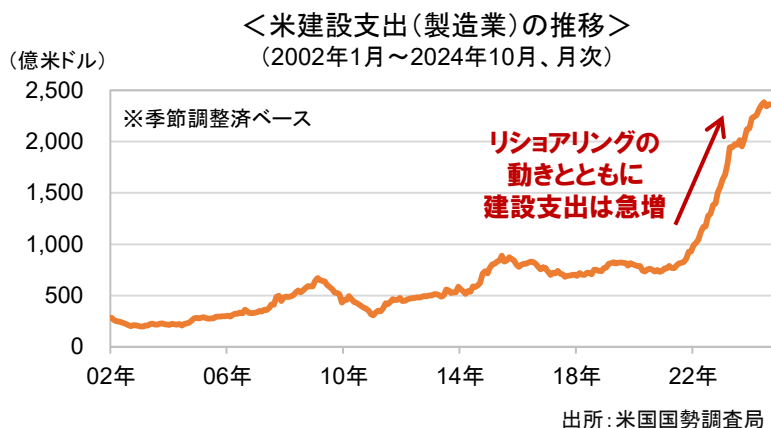
第二次トランプ政権の政策が及ぼす影響については様々な議論が交錯しており、不透明な政治リスクに対しては、より確かなものに投資をすることが一層重要になってくると、ラザード社では考えています。

第一次トランプ政権からバイデン政権にわたって続いてきたサプライチェーンの再構築や製造拠点のリショアリングの動きは、今後中長期的に加速していくと見込まれています。

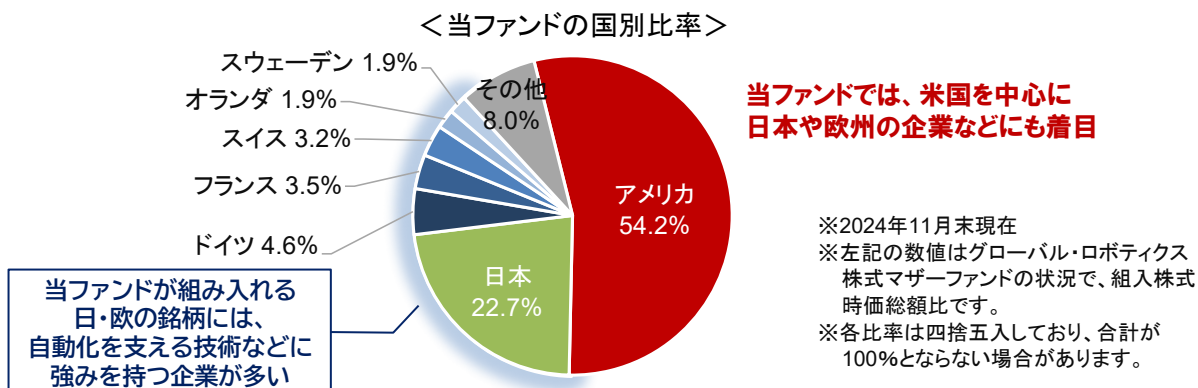
そもそも製造業の就業者数が少ない米国では、移民抑制政策によって人手不足が深刻化し、賃金上昇につながると想定されます。それらを緩和するための自動化への投資は、生成AIを含むロボティクス関連技術に対する需要をさらに高めるとみえています。

また、関税の引き上げも「メイド・イン・アメリカ」への転換を促進し、米国での自動化進展に寄与すると見込む銘柄への投資割合を高めてきた当ファンドにとって、追い風になると考えています。なお、当ファンドでは、このことが米国企業だけではなく、自動化を支える機器・装置・技術などに強みを持つ日本や欧州の企業にも恩恵をもたらすと期待しており、継続的に投資を行なっています。

リショアリング加速が見込まれる中、人手不足が深刻化する可能性



米国のリショアリングは、米企業だけでなく自動化を支える日・欧の企業にも恩恵



（次ページに続きます）

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

前ページからの続き ～ラザード社による今後の見通し～

人手不足解消への貢献が期待される生成AI

生成AIは、翻訳や文書・画像の生成など一部の分野において利用が進んでいるものの、AIツールの操作性が不十分であることや、AIの運営に必要なインフラ(AIサーバーや半導体など)の不足といった物理的制約などから、一般ユーザーへの浸透は足元ではそれほど進んでいません。

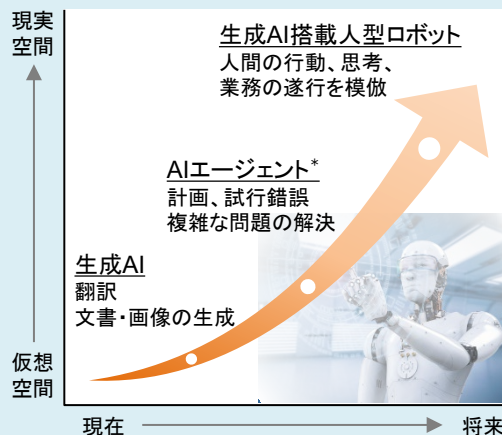
しかし、今後数年のうちには、「AIエージェント*」の普及などにより、多くのユーザーが生成AIを活用できる環境が整い、特に人手不足などを背景とした生産効率向上への需要の高まりが、企業や個人の利用を促し、日常に広く浸透するとみています。

さらには、生成AIの活用が仮想空間(バーチャル)を超え、物理的な自動化装置やロボット、自動化システムに拡張されていくことで、現実空間(リアル)での生成AI利用が急速に進む日も、そう遠くないでしょう。

そのためラザード社では引き続き、生成AI向け半導体に加え、クラウドやデータセンター、データセンターを支える電力インフラ(資本財)など、生成AIに関連するバリューチェーン全体に幅広く注目しており、その中長期的な成長に期待しています。

* 人からの指示を自律的に必要な作業へ分解して実行し、複雑な問題を柔軟に解決するAI。

<生成AIの進展イメージ>

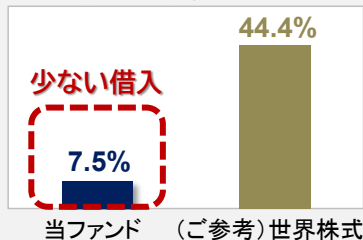


※上記および写真はイメージです

当ファンドでは、財務健全性を重視した銘柄選定を継続

トランプ減税の恒久化や規制緩和によって、短期的には株式市場が堅調に推移する可能性がある一方、中長期的には関税引き上げによる保護主義的な政策が世界経済の成長の下押し要因となるほか、米国でのインフレ再燃懸念が浮上する可能性もあります。当ファンドでは、高い金利水準が長期間続く影響にも引き続き注視し、財務健全性を重視した銘柄選定を行なっています。

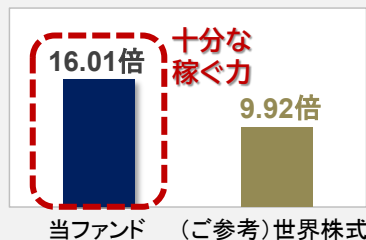
負債総資本比率
(純有利子負債／総資本)



純有利子負債/EBITDA **
(金融を除く)



EBITDA/純支払い利息
(金融を除く)



** EBITDA : 収益力を計る際に用いられる企業価値評価の指標。利払い前・税引前・減価償却前利益。

出所: ラザード社

※ データはいずれも2024年11月末現在です。

※ 当ファンドのデータはマザーファンドの組入銘柄、世界株式のデータはMSCIワールド指数構成銘柄に基づき、ラザード社が算出した値です。なお、同指数は当ファンドのベンチマークではありません。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

※本資料は、ラザード社からのコメントなどをもとに日興アセットマネジメントが作成したものです。コメントは、資料作成時点における市場環境ならびに今後の運用方針等について、運用担当者の見解などを記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、運用方針は変更される場合があります。

主な受賞歴のご紹介

「グローバル・ロボティクス株式ファンド」シリーズは、パフォーマンスについて、評価機関より以下のような評価を頂いています。



モーニングスター・アワード
“Fund of the Year 2019”

優秀ファンド賞

＜対象ファンド＞

「1年決算型」

＜部門名＞

国際株式型(グローバル) 部門



「R&Iファンド大賞2024」
(投資信託部門)

優秀ファンド賞

＜対象ファンド＞

「1年決算型」「年2回決算型」

＜部門名＞

投資信託 テクノロジー関連外国株式部門

【Morningstar Award “Fund of the Year 2019”に関する留意事項】

Morningstar Award “Fund of the Year 2019”は国内追加型株式投資信託を選考対象として、モーニングスター※(現:ウエルスアドバイザー株式会社)独自の定量分析、定性分析に基づき、2019年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスター※(現:ウエルスアドバイザー株式会社)が判断したものです。国際株式型(グローバル)部門は、2019年12月末において当該部門に属するファンド546本の中から選考されました。

当賞は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスター※(現:ウエルスアドバイザー株式会社)が信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的財産権その他一切の権利はモーニングスター株式会社※(現:ウエルスアドバイザー株式会社)並びに Morningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

※ モーニングスター株式会社は2023年3月30日付で、SBIグローバルアセットマネジメント株式会社に社名を変更いたしました。現在、投資情報サービスおよび投信評価事業は同社の子会社であるウエルスアドバイザー株式会社で行っております。

【R&Iファンド大賞について】

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

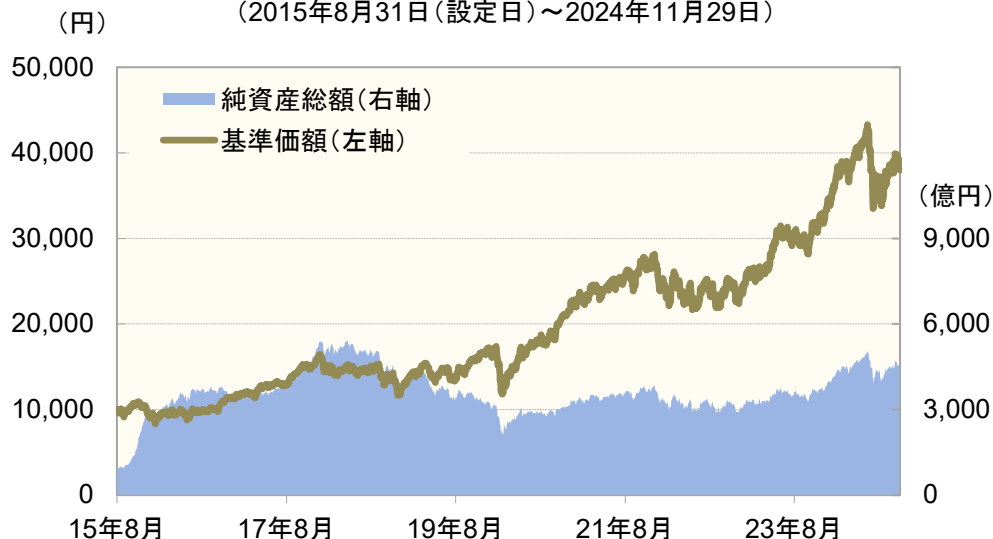
当賞は、過去3年間を選考期間とし、シャープレシオによるランキングに基づき、最大ドローダウンを加味したうえで選考しています。評価基準日は2024年3月31日です。



基準価額と純資産総額の推移①

1年決算型

(2015年8月31日(設定日)～2024年11月29日)



<分配金実績(過去5年)>

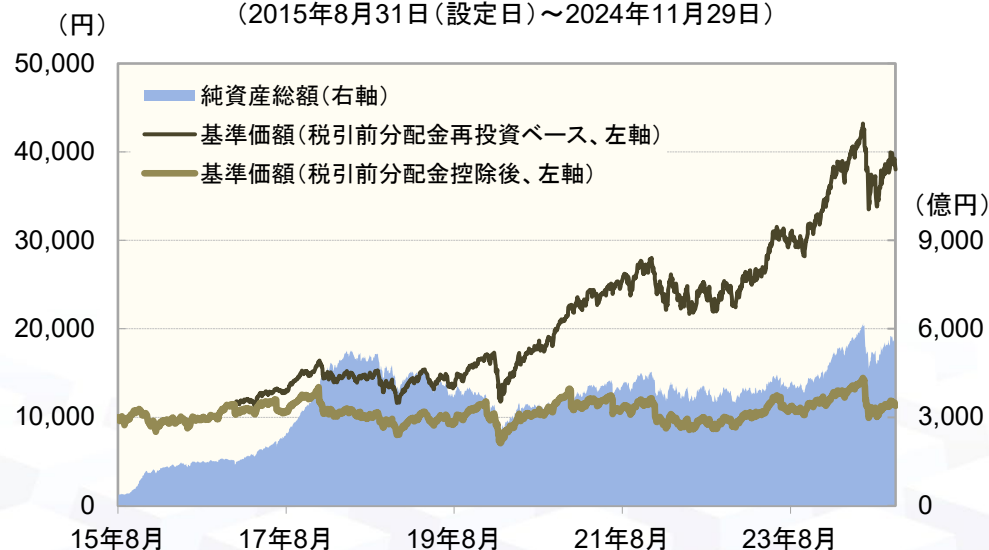
2020年7月	0円
2021年7月	0円
2022年7月	0円
2023年7月	0円
2024年7月	0円
設定来合計	0円

<基準価額>
37,983円<純資産総額>
4,447億円

(2024年11月29日現在)

年2回決算型

(2015年8月31日(設定日)～2024年11月29日)



<分配金実績(過去5年)>

2020年	1月	1,500円	7月	300円
2021年	1月	2,000円	7月	1,500円
2022年	1月	950円	7月	0円
2023年	1月	0円	7月	1,000円
2024年	1月	1,000円	7月	1,500円
設定来合計		14,050円		

<基準価額>
(税引前分配金再投資ベース)
38,004円(税引前分配金控除後)
11,283円<純資産総額>
5,492億円

(2024年11月29日現在)

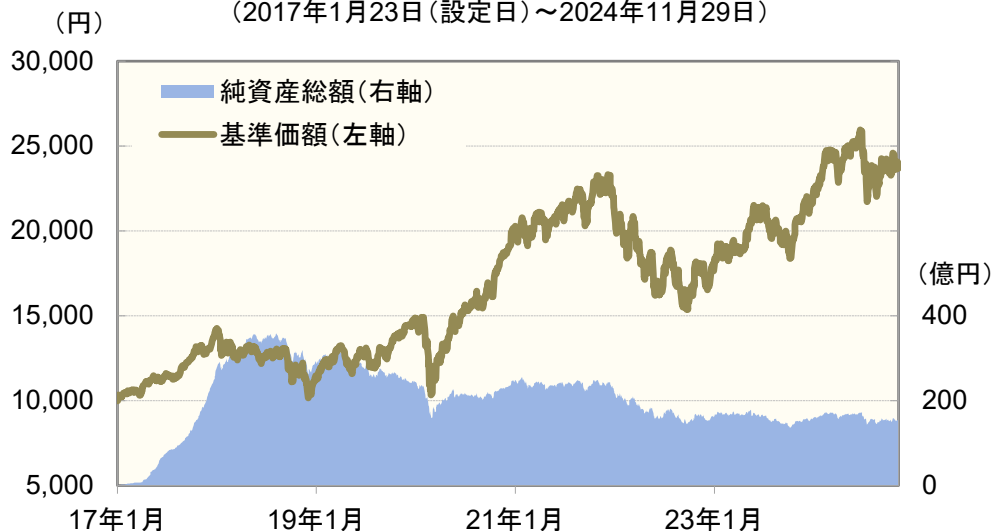
※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。
※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものであることにご留意ください。
※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

基準価額と純資産総額の推移②

為替ヘッジあり・1年決算型

(2017年1月23日(設定日)～2024年11月29日)



<分配金実績(過去5年)>

2020年7月	0円
2021年7月	0円
2022年7月	0円
2023年7月	0円
2024年7月	0円
設定来合計	0円

<基準価額>
23,702円<純資産総額>
151億円

(2024年11月29日現在)

為替ヘッジあり・年2回決算型

(2017年1月23日(設定日)～2024年11月29日)



<分配金実績(過去5年)>

2020年	1月	1,500円	7月	400円
2021年	1月	2,000円	7月	1,500円
2022年	1月	400円	7月	0円
2023年	1月	0円	7月	0円
2024年	1月	350円	7月	1,000円
設定来合計		9,800円		

<基準価額>
(税引前分配金再投資ベース)
23,753円(税引前分配金控除後)
9,943円<純資産総額>
125億円

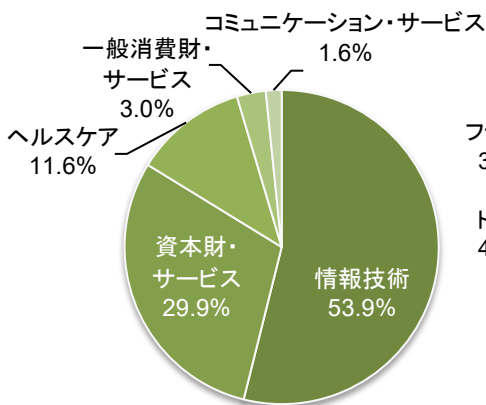
(2024年11月29日現在)

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。
※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものであることにご留意ください。
※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

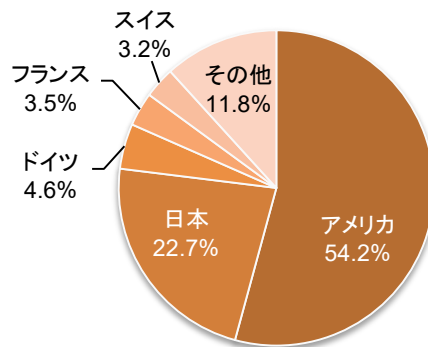
※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

ポートフォリオの概要(2024年11月末現在)

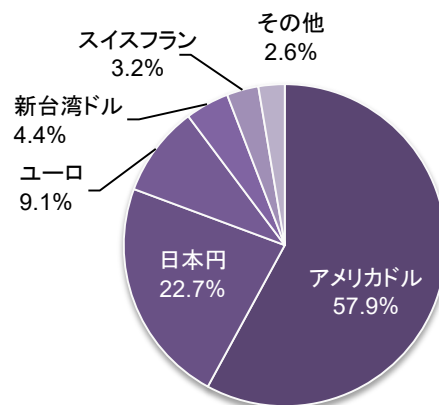
業種別比率



国別比率



通貨別比率



組入上位10銘柄(組入銘柄数:58銘柄)

	銘柄	国名	業種	比率
1	INTUITIVE SURGICAL INC インテューイティブ・サージカル	アメリカ	ヘルスケア	5.2%
2	NVIDIA CORP エヌビディア	アメリカ	情報技術	4.0%
3	ROCKWELL AUTOMATION INC ロックウェル・オートメーション	アメリカ	資本財・サービス	3.4%
4	SIEMENS AG-REG シーメンス	ドイツ	資本財・サービス	3.2%
5	ABB LTD-REG A B B	スイス	資本財・サービス	3.2%
6	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC 台湾セミコンダクター・マニュファクチャリング・カンパニー	台湾	情報技術	2.9%
7	TRIMBLE INC トリンブル	アメリカ	情報技術	2.9%
8	EATON CORP PLC イートン	アイルランド	資本財・サービス	2.8%
9	日立製作所	日本	資本財・サービス	2.7%
10	MICROSOFT CORP マイクロソフト	アメリカ	情報技術	2.5%

※上記の各数値はグローバル・ロボティクス株式マザーファンドの状況で、組入株式時価総額比です。

各比率は四捨五入しており合計が100%とならない場合があります。

※「組入上位10銘柄」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

ファンドの特色

1. 世界各国の株式の中から主にロボティクス関連企業の株式に投資を行ないます。
2. 銘柄選定は、株式のアクティブ運用に注力するラザード社が、徹底した調査に基づき行ないます。
3. お客様の運用ニーズに応じて、決算頻度や為替ヘッジの有無が異なる4ファンドからお選びいただけます。

市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

お申込みに際しての留意事項

■リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様には帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【有価証券の貸付などにおけるリスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- ・当資料は、投資者の皆様は「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)／(年2回決算型)／(為替ヘッジあり・1年決算型)／(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様には帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

※当資料に示す各指数の著作権等の知的財産権その他一切の権利は、各指数の算出元または公表元に帰属します。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	＜1年決算型＞／＜年2回決算型＞ 無期限(2015年8月31日設定) ＜為替ヘッジあり・1年決算型＞／＜為替ヘッジあり・年2回決算型＞ 無期限(2017年1月23日設定)
決算日	＜1年決算型＞／＜為替ヘッジあり・1年決算型＞ 毎年7月20日(休業日の場合は翌営業日) ＜年2回決算型＞／＜為替ヘッジあり・年2回決算型＞ 毎年1月20日、7月20日(休業日の場合は翌営業日)
購入・換金 申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日または ニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜申込時、換金時にご負担いただく費用＞

購入時手数料	購入時の基準価額に対し3.85%(税抜3.5%)以内 ※購入時手数料(スイッチングの際の購入時手数料を含みます。)は販売会社が定めます。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。		
換金手数料	ありません。	信託財産留保額	ありません。

※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。

＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対し年率1.936%(税抜1.76%)
その他の費用・ 手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用、運用において利用する指数の標章使用料などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額</u> が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品賃料に0.55(税抜0.5)を乗じて得た額)などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
投資顧問会社	ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

1 年 決 算 型	年 2 回 決 算 型	為 替 ヘ ッ ジ 有 り ・ 1 年 決 算 型	為 替 ヘ ッ ジ 有 り ・ 年 2 回 決 算 型	金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
						日本証券 協会	日本投資顧問 協会	一般社団法人 取引業協会	一般社団法人 金融先物 協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
○				アイオー信用金庫	登録金融機関					
○	○			アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	○	○			○
○				株式会社愛知銀行	登録金融機関	○				
	○			株式会社青森銀行	登録金融機関	○				
○	○	○	○	あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	○	○	○		
○				株式会社秋田銀行	登録金融機関	○				
	○			朝日信用金庫	登録金融機関	○				
○	○			足利小山信用金庫	登録金融機関					
○	○			株式会社足利銀行	登録金融機関	○		○		
○				足立成和信用金庫	登録金融機関					
○				尼崎信用金庫	登録金融機関	○				
○	○	○	○	株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	○				
	○			株式会社池田泉州銀行	登録金融機関				○	
	○			池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者	○				
○				今村証券株式会社	金融商品取引業者	○	○			
	○			株式会社伊予銀行	登録金融機関	○		○		
○	○			岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	○	○	○		
○				株式会社岩手銀行	登録金融機関	○				
○	○	○	○	auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	○	○	○	○	
○	○	○	○	SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	○	○	○	○	○
○	○	○	○	株式会社SBI証券 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者	○			○	○
○	○	○	○	株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券) (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	○			○	
	○			遠州信用金庫	登録金融機関					
	○			株式会社大垣共立銀行	登録金融機関	○			○	
	○			大垣西濃信用金庫	登録金融機関					
	○			大川信用金庫	登録金融機関					
	○			OKB証券株式会社	金融商品取引業者	○				
○				大阪シティ信用金庫	登録金融機関	○				
	○			大阪信用金庫	登録金融機関					
○				大田原信用金庫	登録金融機関					
○				大牟田柳川信用金庫	登録金融機関					
○				岡崎信用金庫	登録金融機関	○				
○	○			岡三証券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本暗号資産取引業協会にも加入	金融商品取引業者	○	○	○	○	○
○	○	○	○	岡地証券株式会社	金融商品取引業者	○	○			
○	○	○	○	おかやま信用金庫	登録金融機関	○				
○				おきぎん証券株式会社	金融商品取引業者	○				
	○			株式会社沖縄銀行	登録金融機関	○				
○				株式会社香川銀行	登録金融機関	○				
○				香川証券株式会社	金融商品取引業者	○				
	○			株式会社鹿児島銀行	登録金融機関	○				
○	○			株式会社鹿児島銀行 (委託金融商品取引業者 九州FG証券株式会社)	登録金融機関	○				
○				鹿児島相互信用金庫	登録金融機関					
○				柏崎信用金庫	登録金融機関					
	○			株式会社神奈川銀行	登録金融機関	○				
○				金沢信用金庫	登録金融機関	○				

(次ページに続きます)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

(前ページより続きます)

1 年 決 算 型	年 2 回 決 算 型	為 替 ヘ ッ ジ 有 り ・ 1 年 決 算 型	為 替 ヘ ッ ジ 有 り ・ 年 2 回 決 算 型	金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
						日本証券業協会	日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
○				鹿沼相互信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第221号			
○				蒲郡信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第32号			
○				観音寺信用金庫	登録金融機関	四国財務局長(登金)第17号			
○	○			株式会社関西みらい銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第7号	○		○
	○			北伊勢上野信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第34号			
	○			北群馬信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第233号			
○	○			きのくに信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第51号			
○	○			キャピタル・パートナーズ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第62号	○		○
○	○			九州FG証券株式会社	金融商品取引業者	九州財務局長(金商)第18号	○		
○	○			京都中央信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第53号	○		
○	○			京都北都信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第54号			
○	○			株式会社きらぼし銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第53号	○		○
○	○			株式会社きらぼし銀行 (委託金融商品取引業者 きらぼしライフデザイン証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第53号	○		○
○	○			きらぼしライフデザイン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3198号	○		
○				株式会社きらやか銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第15号	○		
○				桐生信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第234号			
○				熊本第一信用金庫	登録金融機関	九州財務局長(登金)第14号			
○	○			呉信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第25号			
○				ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2938号	○		
○				株式会社群馬銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第46号	○		○
○	○			興能信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第19号			
○	○			湖東信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第57号			
○	○			株式会社佐賀共栄銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第10号	○		
○				さがみ信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第191号			
○				佐野信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第223号			
○				さわやか信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第173号	○		
○	○			株式会社三十三銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第16号	○		
○				三条信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第244号			
○	○			Jトラストグローバル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第35号	○		
	○			株式会社滋賀銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第11号	○		○
	○			四国アライアンス証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第21号	○		
○				しずおか焼津信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第38号			
○	○			静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第10号	○		
○	○			七十七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第37号	○		
○				しのめ信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第232号			
○	○			株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第170号	○	○	
○		○		株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第6号	○		
○				城北信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第147号	○		
○	○			株式会社常陽銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○		○
○	○			株式会社常陽銀行 (委託金融商品取引業者 めぶき証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○		○
○				白河信用金庫	登録金融機関	東北財務局長(登金)第36号			
○				新庄信用金庫	登録金融機関	東北財務局長(登金)第37号			
○				スルガ銀行株式会社	登録金融機関	東海財務局長(登金)第8号	○		
	○			諏訪信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第255号			
○				静岡信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第43号	○		
○				西武信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第162号	○		
	○			関信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第45号			
○				瀬戸信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第46号	○		
○	○			株式会社第四北越銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第47号	○		○
○	○			第四北越証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第128号	○		
○	○			大和証券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○
	○			高崎信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第237号			
○				高松信用金庫	登録金融機関	四国財務局長(登金)第20号			
	○			但馬信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第67号			
○				玉島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第30号			
	○			知多信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第48号			
○	○			株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号	○		○
○				株式会社中京銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第17号	○		
○				東栄信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第172号			
○	○	○	○	東海東京証券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○	○
	○			東京信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第176号	○		
○				東京東信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第179号	○		
○				株式会社東邦銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第7号	○		
○				とうほう証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第36号	○		
○	○	○	○	東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第121号	○		○
○	○			株式会社徳島大正銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第10号	○		
○	○			栃木信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第224号			

(次ページに続きます)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

(前ページより続きます)

1 年 決 算 型	年 2 回 決 算 型	為 替 ヘ ッ ジ 有 り ・ 1 年 決 算 型	為 替 ヘ ッ ジ 有 り ・ 年 2 回 決 算 型	金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
						日本証券 協会	日本投資顧問 協会	一般社団法人 一般社団法人 取引業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第一種金融商品 取引業協会
○				鳥取信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第35号				
○	○			株式会社トマト銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第11号	○			
○	○			株式会社富山銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第1号	○			
○	○			富山信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第27号				
○				株式会社富山第一銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第7号	○			
○				豊川信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第54号				
○	○			内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○			○
○	○			株式会社長崎銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第11号	○			
○				長野信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第256号	○			
○				株式会社名古屋銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第19号	○			
○				奈良信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第71号	○			
○				奈良中央信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第72号				
○	○			株式会社南都銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第15号	○			
○				南都まほろば証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第25号	○			
	○			西尾信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第58号	○			
	○			西中国信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第29号				
○	○			株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第6号	○		○	
○	○		○	西日本シティ証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○			
○				のと共栄信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第30号				
○	○	○	○	野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
○	○			株式会社八十二銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第49号	○		○	
○	○	○	○	株式会社八十二銀行 (委託金融商品取引業者八十二証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第49号	○		○	
○	○	○	○	八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第21号	○	○		
○	○			浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○			
○				浜松磐田信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第61号				
○	○			播州信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第76号	○			
○				飯能信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第203号				
○	○			PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第50号	○			○
○	○			株式会社肥後銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第3号	○			
○	○			株式会社肥後銀行 (委託金融商品取引業者九州FG証券株式会社)	登録金融機関	九州財務局長(登金)第3号	○			
○	○			姫路信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第80号	○			
○	○			百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	○			
	○			兵庫信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第81号	○			
○				平塚信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第196号				
○	○			ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第20号	○			
○		○		株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第5号			○	
○	○			フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○	○		
○	○			福岡信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第32号				
○				福岡ひびき信用金庫	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第24号	○			
○	○			富士宮信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第65号				
○	○	○	○	PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
○	○			PayPay証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2883号	○			
○				碧海信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第66号	○			
○		○		株式会社北都銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第10号	○			
○	○	○	○	北洋証券株式会社	金融商品取引業者	北海道財務局長(金商)第1号	○			
○	○			株式会社北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第1号	○		○	
○	○	○	○	松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
○	○	○	○	マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
○	○	○	○	丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第167号	○			
○	○			丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第20号	○			
○				三島信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第68号				
○				水島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第48号				
○	○			株式会社みちのく銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第11号	○			
○	○	○	○	株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	○		○	○
○	○			三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	
○	○	○	○	株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
○	○	○	○	株式会社三菱UFJ銀行 (委託金融商品取引業者三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
○	○	○	○	三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○	○	○	
○	○	○	○	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
○				株式会社みなと銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第22号	○		○	
○				株式会社富崎太陽銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第10号	○			
○	○			moomoo証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3335号	○	○		
○	○	○	○	株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号	○			
○	○			明和證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第185号	○			
○	○			めぶき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1771号	○			
○				大和信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第88号	○			
○				株式会社山梨中央銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第41号	○			
○	○			株式会社UI銀行 (委託金融商品取引業者きらぼしライフデザイン証券株式会社) (オンラインサービス専用)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第673号	○			
○	○	○	○	楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
○				留萌信用金庫	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第36号				
○	○	○	○	ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第8号	○			

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

(資料作成日現在、50音順)